結ぶ絆から、広がるご縁へ
御同朋の社会をめざす運動（実践運動）

鹿子の袖の朝露に　破れし窓の月影に　大悲の光り仰ぎつつ　六字のみ名を
よろこびし ああ上人のあとぞ尊し　幾たび炎くぐるとも きびしき風に終わるともいく
山川を踏み越えて　すくいの道を伝えたる ああ上人の　あとぞおおしき
商い人もすなどりも　ひとしくともにへだてなく 御同朋と手をとりて
明るきいのちあふれたる ああ上人の　あとぞ恋しき　　「山科の路」より

5 月 15 日(日)仏教壮年会総会が持たれました。

鈴鹿組組内の方々との交流でもある念仏奉仕団、津の正覚寺様との交流会も持ち続けていきつつも、会員にどう行事に参画いただけるか、バーベキューでは気軽に参加していただきたい。昨年度はご本山での御正忌報恩講に参拝、嵐山での湯豆腐・散策は大変良かったとの声が多かった。今年は近場での一日研修会を秋に企画する。例会では、興味や身近な話題で会員だけでなく他の門信徒の方々にも参加してもらいたい。

5 月 7 日(土)鈴鹿組仏教婦人会会長会議と 5 月 8 日(日)存仁寺仏婦班長会が持たれました。

今年は鈴鹿組仏婦会長に丸橋さんに就任いただいたので所属寺である存仁寺が会場となり、議事審議が行われました。それを受け、存仁寺仏婦班長会です。堀会長はじめ新役員と今年の班長さんでの初めての会議でした。

その中で今年から、夏の墓地清掃は会員皆さまで執り行うことが話されました。7 月 30 日(土)7 時 30 分。お世話になります。

5 月 12 日(木)無量寿会第 1 回例会が持たれました。

岡田さん調声で「正信偈」のおつとめ、井関会長よりご挨拶を兼ねてお話と、母の日にちなんでカーネーションのクラフトでジャンケンゲーム。盛り上がりました。

初夏らしいお菓子をいただき、ひとときの

おしゃべりタイムです。その後、住職より皆出席の方に送った色紙「現生十益」の話、と初夏の歌です。

「せっせっせーのよいよいよい、夏も近づく八十八夜、トントン・・・」

5 月 28 日(土)曇り空の中、総代・世話方仏教壮年会の方々によるマキ刈り奉仕をしていただきました。垣の上、蘇鉄が大きくなっていますがきれいに刈り込んでいただきました。お疲れさまでした、ありがとうございました。

平成二十年に現役を離れて早や八年の月日が瞬く間に過ぎ去りました。あーッと言う間の日々でした。ふと、振り返る時に、この間何をしていたのだろう、何も出来なかった事を悔いる次第です。ところで、四月十四日には、九州熊本が活断層の大地震に見舞われ現在も震度四レベルの地震が続いています。惨状をテレビで見る度に心が痛みます。心よりお見舞い申し上げます。早い復興を心より願っています。テレビで惨状を見る度に、私が幼少時に観た映画(喜びも悲しみも幾歳月)を重ねて思い出します。小学校時に推薦映画として全校生徒が観賞しました。「喜びも悲しみも幾年月」華やかに人の目に触れる仕事でなく、人知れずに実直に働く灯台守の人生を描いた映画でした。主人公が辿る数々の悲しい出来事、第二次世界大戦を経験し、息子を不良のケンカで刺殺され、転勤で単身赴任、愛娘が新婚旅行で向かう海路でのラストシーン、主人公の灯台守は愛情を込めた優しいライトを娘に送るシーンに共感して涙しました。その喜びに出遭った主人公の灯台守は、この仕事を捨てずに続けて良かったと夫婦共に深い感慨に涙し、そのラストシーンを私は未だ忘れません。その撮影の舞台の一つが小樽市祝津岬(日和山灯台)と石狩海岸に在る歌碑に偶然に出逢えた喜びは一入でした。祝津海岸岬から見る大海原は絶景で言葉も少なく心に熱いものが流れました。前述の映画と自信には関連もありませんが、災害を被った方々には将来に希望を捨てずに強く生きて頂きたいとの思いが重なります。　北海道大島義勝さん

喜びも悲しみも幾歳月（昭和三十年）一九五七

私が、この言葉を知ったのは小学生時
確か学校推薦にての映画鑑賞だった
監督は木下恵介、主演は佐田啓二・高峰秀子
内容は灯台守夫婦の生涯を描いた映画だ

私が感動した場面は、新婚旅行船上の
娘を気遣い、見送る親子の絆に大泣き
灯台守主人公夫婦が、愚直に勤めて来て
本当に良かったと深く涙ぐむものだった

歌碑は、石狩海岸の灯台の原野に在る
世間から見向かれず寡黙に働く灯台守
しらず知らずに、何時しか口ずさむ歌詞
（おいら岬の灯台守は、妻と二人して・・）

幾つかの悲しみを乗り越えた先には必ず
喜びも待つ、我が身に重ねて願う
今年は、その撮影現場の小樽市祝津を訪ねた
日本海大海原を背景の日和山灯台が輝く

俺は雑草

■卒業時の寄せ書きに（俺は雑草）と書いた、社会へ一歩踏み出す心構え
踏まれても踏まれても強く生きるぞ
待ち受ける困難を意識して表現した

■それにしても幼稚な表現と後悔した
他に心を表現する言葉が無かったか
級友の寄せ書きは、柔らかく美しい
未だ見ぬ将来を明るく受け止めてる

■或る日、テレビドラマの俳優の言葉
俺は雑草、と言い放ったではないか
踏みにじられても立ち上がる雑草と
一瞬ではあるが、若き自分を重ねた

■社会にて、その都度踏まれ除かれた
矢張りと言うか、私は雑草になった
踏まれて除かれても強く起き上った
恩師の言葉は「二十年後が楽しみだ」

吾が意志を　とことん張って　松の芯
苔を置く　梵字の墓に　若葉風
白雲を　掃きつくしたる　新樹かな
惜しげなく　歳月流る　柿若葉
年重ね　静かな暮し　えんど飯
雨の日の　雨に馴じみし　手鞠花
夏蝶の　玻璃に息づく　通り雨

落合登代子

夏椿
一夜の命　咲きにけり
光子

宇宙の話を読んだ。
何十億年の中で
今日一日がある不思議
その一日を今生きている

札幌市
大島
光子
さん

朝倉市
森田
瑛子
さん

梅雨の季節に入りました。蒸し暑さに体調も崩れる頃
水分補給をしっかりとして熱中症にもご注意を、くれ
ぐれもご自愛にて、お念仏ご相続ください。　合掌

毎月１日と16日のさわやかなひと時、６時30分～７時15分おあさじにお参りください